



現在の公立
小中学校は
税金で運営
されているけど
この時代の
小学校は
地域の人々で
運営しなければ
ならなかった
んだ

資金が足りなくて
廃校になりそうな
ところも出て
きたんだ

学校が
なくなっ
ちゃうの

学田地に入植すると
毎年小作料を
学校に支払うことになる

だから
西野は奥地
から入植
してきた

がんばって
畑にしても
お金を支払
うのか

でも見ても
わかるように
西野の学田地は

発寒川と
左股川が
合流する所で
水が豊富で畑を
作るのに最適地だ

そこで今の
北海道庁に
あたる役所が
申し出の
あった学校に
土地を分け
あたえた

その土地を
利用して得た
お金で学校の
運営をして
もらおうと
考えたんだよ

そういう土地は
「学田地」と
呼ばれ

明治17年には
西野にも
「学田地」が
できたんだ

小作料は
学校の運営に
使われるわけだし

その小作料
も他の土地
で支払う半
分だよかつ
たんだ

だから少し
ずつ入植する
人が増えて
いったんだ

それに
昭和17年
(1942年)
から昭和21年
までには小作料
は払わなくても
よくなった
んだ

ここは
いい畑
ができる
やっ
てみるか

入植して
すいぶんたっ
てからなんだ

円山小学校に
あたえられた土地は
「円山学田地」

琴似小学校の土地は
「琴似学田地」と
呼ばれたんだ

西野まちづくり
センターにある碑には
そんな意味があったんだ

自分が
住んでる
まちの歴史
なのに

知らない
ことはか
り…

ものすごく
興味が
わいてきた

そうやって
くれるとうれし
いなア

!!
そうだイス!!
西野の子どもは
どこの学校に
かよってたの?

この時代の上手稲村は
人口も少なく
時習館という
学校があるだけ

それも今の地下鉄
東西線宮の沢駅のそばに
あったから

とても小学生には
通学することは
できなかったんだ

学校に行つて
なかったんだ

それはうら
やましい
かも…

西野の学校や
その生活はあとで
おしえるからね

何を言ってるの
シヨウくん!!